第 76 回 生 存 研 シ ン ポ ジ ウ ム

木質材料及び木質構造のこれからを考える若手の会

参加条件：若手の人に限る
（目安は、年齢 40 歳未満または研究歴 10 年未満）

開催趣旨：

近年、木質構造研究は益々盛んになり、若手研究者の数も大きく増加し、様々な研究が行われている。一方で、木質構造における研究や開発は細分化されたために、それぞれの連携が希薄になり、木質構造にとって重要なテーマであるにも拘わらずなかなか研究が進展しないものもある。そこで、木質構造研究と関連する分野を対象に４つのテーマを選定し、それぞれを専門にしている若手研究者・技術者に二人一組で講演してもらい、現状を理解すると共に、今後分野拡大を図るために必要と考えられる基礎や応用、今後の研究における連携等について検討する。

プログラム

13:00 ～ 13:05　開会挨拶：梅村研二（京都大学生存圏研究所）
13:05 ～ 13:50　構造研究と材料研究は相互に何を求めるのか？
　　田中　圭（大分大学工学部）
　　足立幸司（東京大学アジア生物資源環境研究センター）
13:50 ～ 14:35　材料強度、接合強度と生物劣化は定量的評価が可能か？
　　森　拓郎（京都大学生存圏研究所）
　　簗瀬佳之（京都大学農学部）
14:35 ～ 14:50　＜休　憩＞
14:50 ～ 15:35　国産材を住宅に使うためにクリアすべき問題点とは？
　　久保山裕史（森林総合研究所林業経営・政策研究領域）
　　照井清貴（㈱ポラス暮し科学研究所）
15:35 ～ 16:15　木質材料・構造研究の現状と実務的問題点
　　青木謙治（森林総合研究所構造利用研究領域）
　　矢永国良（中国木材㈱）
16:15 ～ 16:55　総合討論（進行：森　拓郎，田中　圭）
16:55 ～ 17:00　閉会挨拶：青木謙治

17:15 ～ 19:00　＜懇親会＞　於 木質エコ住宅
　　会費：2,000 円（講演者と学生は無料）

●見学会
10 月 16 日（火）10:00 ～　東本願寺改修工事現場

日時：２００７年10月15日（月）13:00～17:00
場所：京都大学生存圏研究所 総合研究実験棟５階 HW５２５